

# ナガボテンツキ

*Fimbristylis longispica* Steud.

## カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

該当なし

### 選定理由

分布域が極限され、著しく減少していると考えられる。今回の調査では志賀町上野海岸で確認された他は、既知の自生地について近年の確認情報が得られていない。(現況:R-)

### 形態

高さ40~60cm。同様の環境にみられるイソヤマテンツキに似るがより大型で、稈も太い。小穂の鱗片の背面は無毛。瘦果は黄白色で格子紋がある。

### 国内分布

本州(主に太平洋側)~九州。

### 県内分布

外浦区(珠洲市シャク崎、志賀町富来地区)、中能登区(志賀町上野および百浦、羽咋市柴垣)。本県の分布は日本海側の隔離分布である。

### 生態など

磯浜の砂礫地や塩湿地に生える多年草。花期は7~9月。

### 生育環境

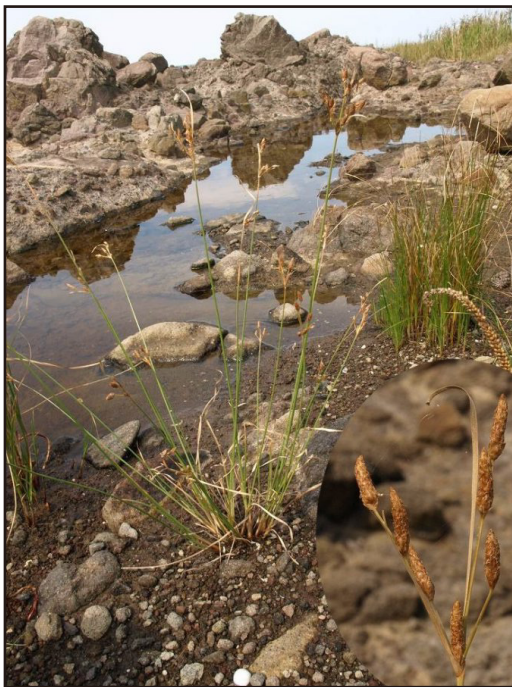
岩石海岸。

### 危険要因

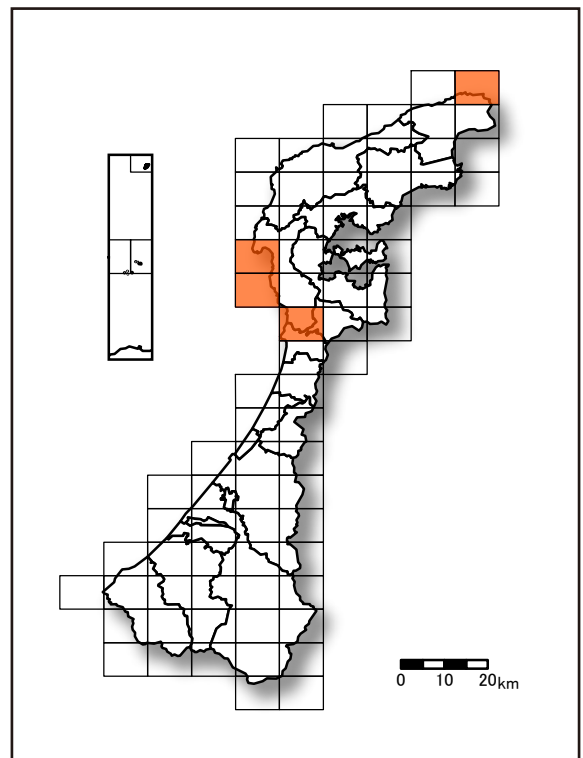
海岸開発、波浪による侵食。高潮による海岸植生の侵食が近年著しく、個体群が急速に衰退している可能性がある。

### 特記事項

自生地の一部は能登半島国定公園内にある。珠洲市シャク崎では近年の調査で確認されておらず、他の自生地についても緊急に現況の確認調査が必要である。



林 二良・2009年9月18日・中能登



県内の分布